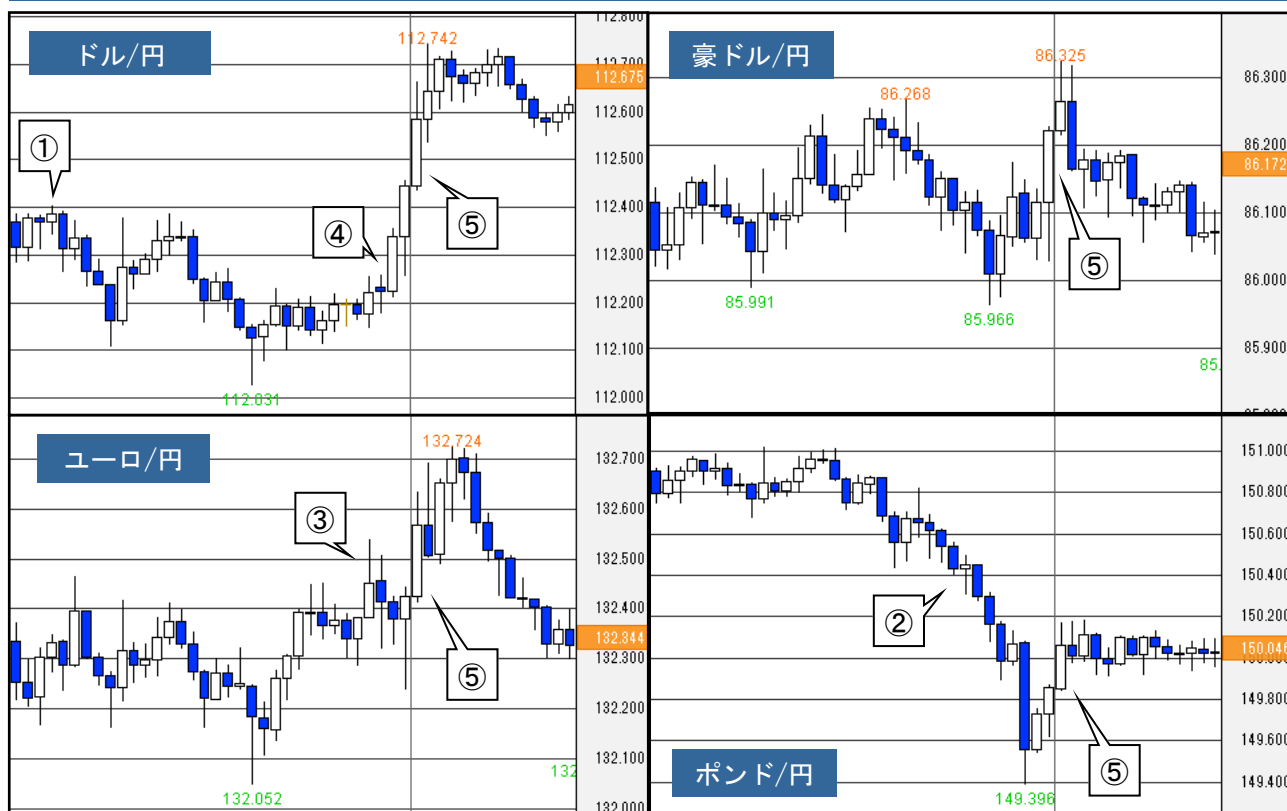


12月18日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

米税制改革法案、年内成立へ期待高まる

15日(金)の為替相場



期間：15日(金)午前7時10分～16日(土)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 12月日銀短観の大企業製造業業況判断DIIは25(予想:24)と5期連続で改善し、11年ぶりの水準に上昇した。なお、2017年度想定為替レートは1ドル=110.18円と前回(109.29円)から円安方向に設定された。
- ② トウスク欧州連合(EU)大統領は、EU首脳会議が英離脱交渉(Brexit)の第2段階への前進を承認したと発表。ただ、第2段階の通商交渉はさらなる難航が見込まれるとの思惑からポンド売りが優勢となった。
- ③ 独社会民主党(SPD)指導部が、メルケル首相との連立に向けた暫定交渉入りを支持したと伝わると、一時ユーロが買われた。
- ④ 米12月NY連銀製造業景況指数は18.00と市場予想(18.70)を下回り、前回(19.40)から低下した。その後発表された米11月鉱工業生産も前月比+0.2%にとどまり、市場予想(+0.3%)を下回った。ただし、前月分が+0.9%から+1.2%へ大幅に上方修正された。
- ⑤ 米共和党のルビオ上院議員が税制改革法案を支持したと報じられるとドルが上昇。法人減税の期待から米国株が上伸する中、クロス円も買いが優勢となった。なお、ルビオ上院議員は前日、同法案の一部変更を求めて態度を保留していた。

15日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22553.22 ▼141.23	5996.972 ▼14.287	3266.137 ▼26.301	7490.57 △42.45	13103.56 △35.48
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24651.74 △143.08	0.0460% ▼0.0040	2.523% ▼0.032	1.150% ▼0.024	0.301% ▼0.015
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.8358% △0.0248	2.3530% △0.0036	57.30 △0.26	1257.50 △0.40	

外為注文情報(ドル/円)

2017/12/18 08:10 現在 [112.67-112.67]		
Sell	Rate	Buy
■	113.15	□
■	113.10	□
■	113.05	□
■	113.00	□
■	112.95	□
■	112.90	□
■	112.85	□
■	112.80	□
■	112.75	□
■	112.70	□
■	112.65	□
■	112.60	□
■	112.55	□
■	112.50	□
■	112.45	□
■	112.40	□
■	112.35	□
■	112.30	□
■	112.25	□
■	112.20	□
■	112.15	□

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	112.200-113.100	131.900-133.100	85.700-86.500	149.200-150.800

【ドル/円】

15日のドル/円は、米税制改革実施への期待から底堅く推移。一時は112.00円台まで下落する場面もあったが、NYタイムには112円台後半へと持ち直した。米税制改革法案は、法人減税(35%から21%へ)を柱とする最終案が纏まり、今週中にも上下両院で採決にかけられる見通しだ。年内成立の可能性が高まっており、米国株(指数)は利益率拡大や自社株買いへの期待から史上最高値を更新している。リスク選好地合いが見込まれる中、本日もドルは堅調を維持しそうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
12/18(月)	08:50		(日) 11月貿易収支	+2846億円	-400億円
	19:00		(ユーロ圏) 11月消費者物価指数(HICP)・確報(前年比)	+1.5%	+1.5%
	24:00		(米) 12月NAHB住宅市場指数	70	70

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。